

春日神社



社報 春日神社

第十七号

発行日 平成24年6月20日

発行者 〒870-0031

大分市勢家町4-6-87

春日神社 宮司 宮本隆之

TEL097-532-5638

題字 東郷平八郎

志くば

宮司挨拶／東日本大震災 復興支援に当社の子供神輿を提供
夏季大祭せまる／大祓式のご案内／敬神婦人会日帰り旅行
氏子青年会 役員改選／平成大嘗祭主基地方風俗舞
春日の杜散策15／蓬莱雅楽会の活動／ブライダルフェア

御挨拶

宮司 宮本 隆之

鎮守の杜の若葉が緑輝く頃となりました。厳しい冬の寒さに梅の開花が一ヶ月程遅れ、季節はずれの長雨や寒の戻りなど例年とは違う季節の様子にやささか心配していましたが、ご神木の楠が例年以上に生き生きと新芽を伸ばしているさまに安堵しているところです。

こうした中、天皇陛下におかれましては、二月に心臓冠動脈バイパス手術をお受けになられましたが、無事手術を終えられてご公務に復帰されました。その後は、英国エリザベス女王就任六十周年のお祝いや全国植樹祭にて親しく山口県に行幸啓せられるなど、お元気なお姿を拝見するにつけ皇室をいただく有難さをつくづくと感じ、衷心より皇室の弥栄をお祈り申し上げる次第であります。ところで先六月六日、天皇陛下の従弟にあられます寛仁親王殿下が薨去せられました。ヒゲの殿下として国民に親しまれ、ガンを告知しての闘病生活の中にも、障害者福祉やスポーツ振興等に力を注がれ、積極的にご公務に勤められましたお姿を偲び、御霊のご平安を謹んでお祈り申し上げます。

さて、第六十二回式年遷宮も平成二十五年秋の正遷座祭に向け、諸儀順調に執り進められている旨伺っております。そうした中、先般四月に神宮祭主池田厚子様のお支えとして黒田清子様がお天降下の大御心を体されて臨時祭主に就任されました。降嫁された清子様がこの時期に神宮の重職に就かれますことは、大変喜ばしく有難いこととありますと共に、いよいよご遷宮が間近に迫ってきたと感じられます。

当社においても新年より諸祭儀滞りなく奉仕しております。恒例祭の外、本年は天皇陛下御病氣平癒祈願祭、天皇皇后両陛下英国御渡航安全祈願祭、一年を経過致しました東日本大震災復興祈願祭等の臨時祭典、さらに復興支援として子供神輿四基を東北の各社に寄贈するなどの活動を致しております。また只今は、夏祭に向けて準備をとり進めています。とりわけ昨年は神輿巡行が台風の影響で中止となったことから、氏子青年会ではいっそう力を入れておりますので、地域皆様方のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、四月中旬よりご参拝の皆様方にご迷惑をお掛けいたしました本殿前の工事期間中のご協力に感謝申し上げますと共に、今後共変わらぬご崇敬のもとご参拝下さいませようお願い申し上げます。

祭典ごよみ

六月 三十日 水無月大祓式

七月 十八日 夏季大祭 宵祭

子ども神輿巡行

十九日 夏季大祭 夏越大祭

大神輿巡行

九月二十五日 撰社天満社祭

十月 十八日 秋季大祭 宵祭

十九日 秋季大祭 神幸祭

潮搔き神事

十一月十五日 七五三祭

※当日に限らず、毎日祈願祭を奉仕しています

十一月二十三日 新嘗祭

十二月二十三日 天長祭

十二月三十一日 師走大祓式・除夜祭

● 毎月一日・十五日は月次祭

東日本大震災 復興支援に当社の子供神輿を提供



あの千年に一度とも言うべき大震災から一年後の翌日となる本年三月十二日、昨年に続いて「東日本大震災復興祈願祭」を齋行、被災された東北の方々にも早く心安らぐ日が戻るようにと御祈念申し上げました。また並行して、東京都下谷神社阿部明徳宮司様の仲介により、当社で現在使用していない子供神輿四基を支援の為に二社へ提供させて頂きました。この発送にあたっては、

塗装部分の剥落修理を施したうえで清め祓い式を行い、その後職員が心を込めて一つ一つを手作業にて梱包した上で送り出しをしました。なお、今後も被災地からの要望に沿い、祭具や装束など出来る限りの支援を続けていきたいと考えております。今回、福島県いわき市の諏訪神社高木美郎宮司様から御丁寧なお礼の手紙と写真が届きましたので、本紙に掲載させて頂きます。

謹啓 御社頭益々繁栄の事とお喜び申し上げます。

この度の子供神輿寄贈に際しましては御社よりのご支援を戴き深く感謝申し上げます。五月四日執行し他県、県内多数の方々も神輿を担いで下さり無事終了致しました。子供神輿は今回ご提供頂いた三基の内、二基は参加することが残念ながら出来ませんでした。

今尚放射線の健康被害を恐れて避難している子供達が多く、更には学校での野外活動が一時間と制限されている事もあり、祭り直前まで子供会で協議を持ったと聞いております。距離的な近さもあり避難指示が出されたという事実の重みの影響もあります。

しかしながら昨年とは異なり周囲に考えを巡らす心の余裕もできました。又神輿を戴いたという事が大きな力となり、祭り参加の検討を重ねた事は、大きな前進になるものと思います。参加した子供達、付き添う父兄、沿道で神輿を迎える人々は喜びに溢れておりました。

今なお復興の道程は遠い状況ですが、鎮守の杜を守りふるさとの再建に努める所存です。ご提供下された氏子の方々に宜しくお伝え下さい。末筆ながら御社の益々のご隆昌を祈念申し上げます。

敬 具

平成二十四年五月吉日

諏訪神社宮司 高木美郎





夏季大祭いよいよ迫る

当社祭典の中で一番規模の大きい行事である夏季大祭まで一ヶ月たらずとなりました。この行事に向けて、本年度総先導を務める後藤彰弘氏また当社氏子青年会長木村成淑氏を中心に五月から準備会議を開始、そしていよいよ巡行路が決定しました。

神輿の担ぎ手は例年約八百名となっており、今年も氏子町内また一部企業からの参加を取りまとめています。参加希望のお問い合わせは社務所までご一報下さい。

また、各企業のご協力により境内や参道には「奉燈」が灯されますので、こちらもご覧頂きたくどうぞご参拝をお待ちしております。

七月十八日(水)

午後三時四十五分 ごとも神輿巡行

(雨天の場合は二十日に順延)

午後四時 宵祭

七月十九日(木)

午前十一時 夏越大祭

午後二時 大神輿巡行

※両日とも庄内神楽の奉納があります



《御神輿巡行路》

出発式	13:40	10 寿司めいじん春日店	17:40
1 春日神社出御	14:00	19 中春日・鳥羽文具店	17:50
2 勢家町・西應寺	14:15	20 新春日町公民館	18:20
3 ソフトパーク・OEC	14:25	21 南春日・荒金酒店	18:40
4 東春日・肉の木村屋	14:35	22 大分イベントホール着	18:50
5 西春日・大野屋ビル	14:45	(夕食休憩)	
6 東春日・伊藤田クリニック	14:55	大分イベントホール発	19:30
7 東春日・塚川病院	15:05	23 西春日・第一電話	19:50
8 木村写真本館	15:25	24 東春日・木村外科	20:10
9 ガレリア竹町ドーム	15:40	25 アリントンホテル	20:25
10 府内アクアパーク	15:55	26 ジャングル公園	20:40
11 府内町・太田旗店	16:10	27 都町・第一ビル	20:55
12 トキハ	16:15	28 都町・時計台ビル	21:05
13 JR大分駅	16:35	29 毛コ美容室	21:10
14 末広町・小幡歯科	16:45	30 勢家・松岡商事	21:25
15 ヤノメガネ中央店	16:55	31 春日神社神門前	22:00
16 ヤノメガネ竹町本店	17:10	32 春日神社還御	22:30
17 ガレリア竹町西口	17:30		

夏越の大祓式

茅の輪神事のご案内



一年のうちようど半分にあたる六月三十日には全国の神社で大祓式が行われます。この日、境内に茅(かや)で作られた輪が立てられ、「茅の輪(ちのわ)神事」と呼ばれる行事が執り行われます。この神事は半年の間に知らず知らずして身についた罪穢れを祓い除いて、元気に暑い夏を乗り切るとともに、後半の半年をさわやかにまた清らかに過ごしていこうとする、私たちの祖先の生活の知恵とも言えるべきものです。

当社では三十日当日の朝から、神職の手により一本一本選り分けられたみずみずしい茅と青竹で作られた「茅の輪」が拝殿前に設けられ、午後四時から神職総代による祭典が行われます。これには一般の方の参列も自由です。またこの「茅の輪」は境内に数日間残していますので、どうぞご参拝下さい。

春日敬神婦人会 日帰り研修旅行

会長 甲斐千代子



去る五月一日、恒例の本会日帰り研修旅行を会員二十五名参加のもと実施しました。

午前十時からの月次参拝では、今日の研修の安全と成功を併せてお祈りしました。その後私たちを乗せたバスは、春日神社から南大分方面に車で約三十分の市内寒田にあります西寒多神社へと向かいます。由緒書によると、応神天皇九年（二七八）、本宮山にお社を建てて西寒多大神（天照皇大神）をお祀りしたのが始まりとされるそうで、「延喜式神名帳」という古い書物に記載されるとともに、豊後国一宮として現在の大分県中南部における最高の格式を持つ神社であったようです。応永十五年（一四〇八）に現在地にお遷りになり、明治四年（一八七一）に国幣中社に列格されました。

西寒多神社ではこの時期、市天然記念木に指定の樹齢約四五〇年の藤が見ごろとなり、五月三日から三日間にわたり「藤まつり」が開催されます。予定より早めに到着した私たちは、参拝前にまず手入れの行き届いた藤棚を散策。『この藤は房の長さが九〇cmと、他所のものより花が長いという特徴があります』と、朔日参り（ついでにちまいり）に来社の近隣の方から伺いました。そして定刻となり本殿にて正式参拝、引き続き安藤慎介宮司様から由緒説明がありました。とりわけ私が興味をもったのは豊後大野市犬飼にある西寒田神社との関係で、『古書籍に大分の寒田と犬飼の西寒田とがあるが、鎮座地の変遷を意味しているものなのか、はつきりとしたことは未だ不明である』とのお話でした。

神社を後にした私たちは、昼食会場の由布市挾間町「陣屋の村」へと向かいました。ここは昨年八月にリニューアルし、キャンプ・温泉・宿泊施設などがあり、西寒多神社同様に藤の花が大変美しく、この日も多くの方が来場していました。食べきれないほどのご馳走がならんだ大満足の昼食を頂きながら、参加者一同和やかにお話がはずんだのでした。そして全日程を終え、一路春日神社へとバスは走り帰路となりました。同じ市内にあることから、かえってお参りする機会の少なかつた西寒多神社ですが、天候に恵まれて美しい満開の藤を満喫することが出来、大変実りのある研修となりました。

春日神社氏子青年会 役員改選

去る六月七日に当社氏子青年会の定例総会が開催されました。青年会活動としては夏祭りの神輿巡行と秋祭りでの「春日の市」の運営をメインとして、当社大祭への参列や七五三行事の助成あるいは研修会・研修旅行への参加などとなっています。木村会長が議長をつとめて議事をとり進め平成二十三年度行事報告と決算、二十四年度行事計画と予算がともに原案通りに可決されたほか、三十九年の任期満了に伴う役員改選が行われて、左記の通りの新執行部が選出されました。また、初めての試みとして神職による講話の時間を設け、「伊勢神宮式年遷宮について」と題し法元茂之権禰宜が四十分にあたり、神宮の概略と明年に迫った御遷宮をわかりやすく解説しました。

- | | | |
|-----------|------|------|
| 会長 | 木村成淑 | (再任) |
| 副会長 | 宮本重樹 | (新任) |
| 理事(事務局長) | 小林裕二 | (新任) |
| 理事(事務局次長) | 芦原研二 | (新任) |
| 理事(会計) | 津末和剛 | (再任) |
| 理事 | 後藤房生 | (新任) |
| 理事 | 出口泰則 | (新任) |
| 理事 | 角永喜重 | (再任) |
| 監事 | 難波明信 | (新任) |





当社 参集殿における演奏の様子

平成大嘗祭主基地方風俗舞

へいせい だいじょうさい すき ちほう ふぞくまい

天皇陛下が皇位を継承することを御大典といいますが、その柱となるものが即位の礼と大嘗祭です。大嘗祭とは皇祖・天神地祇に、新帝自らが特別の新穀をお供えして行われる御一代一度の大切な儀式です。

平成大嘗祭では、大分県がこの新穀をつくる主基国（西日本の代表として大嘗祭に献穀する県）に占定され、玖珠町山田の穴井進氏の所有田が齋田となりました。大嘗宮主基田供饌の儀には、主基国からの献穀と共に風俗歌が供進され、また大嘗祭の直会にあたる大饗（たいきょう）では、風俗歌に舞の手振りを付けた風俗舞が披露されました。

平成の主基地方風俗歌・風俗舞は、歌人香川進氏が大分県の地名を詠み込んだ和歌四首に、宮内庁楽部が県内の民謡・俚謡および郷土舞を採り入れて、作曲および振り付けをしたものです。本来この国風歌舞（くにぶりのうたまい）は御即位のつど新作されることから、玖珠の主基齋田とともに、本県の歴史にしっかりと留めておき、かつ後世に語り継ぐべき大変名誉なことといえましょう。

天皇陛下御即位二十年を契機として、本県神社界が熱望してやまなかつたこの平成大嘗祭主基地方風俗舞の習得そして継承のお許しを頂きました。たたちに宮内庁楽部による指導が開始され、また大分県神社庁が舞装束・舞具を購入するなどして、その全てが調った平成二十二年六月、主基齋田の地である玖珠町瀧神社御神前での奉納演奏が行われたのでした。

この平成の大御代と本県との有難くもゆかしい関わりについて、そしてまた唯一無二の平成大嘗祭主基地方の歌舞を、県下神社界を挙げてしっかりと後世に継承していかねければなりません。当社においては、宮内庁先生方の指導の際に練習会場を提供したほか、神職五名が習

得メンバーに加わるなど初期から深く関わっています。今後も継承へ向け大いに取り組んでいきたいと思えます。尚、この舞は毎年玖珠町瀧神社に奉納されるほか、神社庁の判断により他所演奏の要請にこたえています。

参音声 『くじゅう高原』

霧やがて 晴るればくじゅう 高原は
つばらかにして 牛くさを食む
くじゅう高原の「稲取歌」を参考にしています。

破 『高崎山』

高崎山 みどりを清み 常盤木の
さながら海に あそべるたのしさ
賀来の「田の草取歌」、振り付けは「鶴崎踊り」の猿丸太夫の手振りを参考にしています

急 『姫島』

ひたごころ 秘めこし姫島 ひとつにし
結ばれゆきつ 千万までも
姫島村の子守唄と盆踊りの曲を、振り付けは「狐踊り」を参考にしています。

退出音声 『岡城跡』

見のたかき 岡の城あと 神さびて
霜さえわたる 千代の松が枝
竹田市神原の祝い唄「ヨイヤナ」を参考にしています。

春日の杜

散策

vol. 15

秋祭りの古写真

元禄三年（一六九〇）九月十九日の「府内藩日記」に、以下の記載があつたと当社に記録されています。

今日、当社祭典中には二度の神輿出御があります。ひとつは七月十九日に氏子区域を約八時間かけ、のべ八百名の担ぎ手が奉仕する新神輿での夏季大祭巡行、そして十月十九日に藩公の家紋を付した旧神輿を春日浦のお旅所へ台車に乗せてお移しし、「潮掻き神事」を行う秋季大祭です。

氏子が大勢集まつて大層な賑わいとなる庶民的な夏祭りに対して、秋の「お浜出」と呼ばれる行事は、かつて府内藩の御殿様が関わる公的なお祭りでした。松平家（大給家）の居城府内の氏神として格別の崇敬が当社に寄せられて、この秋祭りのお旅所には棧敷を設けて藩主自ら参拝するか家臣を代参させたといわれています。



同日春日神事相済 飯屋式拾壹軒 銀四貫五百日程
菓子 饅頭 飴 酒 酢（鮭） 刻たばこ 栗 柿 共
御収納高 御入箇高 米、大豆、差引高
（慶応二年十月 同三年九月）

一、一石三斗 春日宮御初穂米

一、六斗 春日宮御供米

一、四石五斗 神宮寺正、五、九月御祈禱料

一、銀貳貫貳百拾四匁

公方様当御時合柄に付由原祇園

春日並福寿院御祈禱入箇メ辻

一、二百三十九匁四厘

春日宮御本社並天神社修理入ヶ

この写真は地元勢家町の小野金平さん提供によるもので、今次大戦からわずか数年後の秋祭りの様子です。神輿に乗せた台車を引く小野さんと、後に続いて朱傘を差しかけられた当時の宮本末彦宮司の姿を見ることが出来ます。疲弊した世情ではありましたが、伝統の祭事がこのようにして守られたのです。

蓬萊雅楽会の活動から

昨年は結成二十周年を記念した境内特設舞台での演奏会を行った本会ですが、このような事業や県内各社寺恒例行事での奏楽のほか、近郊の学校に向いての雅楽教室などを積極的に実施しています。

本年二月二十四日には大分市萩原の東大分小学校において、六年生児童九十名を前に雅楽教室を行いました。はじめに、雅楽の歴史や当日持参した楽器を紹介したのに続き、「越天楽」を演奏。その後、希望者が実際に楽器を手にして音出しを体験。音が出たときには驚きの声や拍手がおこるなど、日本の文化を見て、聞いて、触れて、体験してもらうことが出来ました。



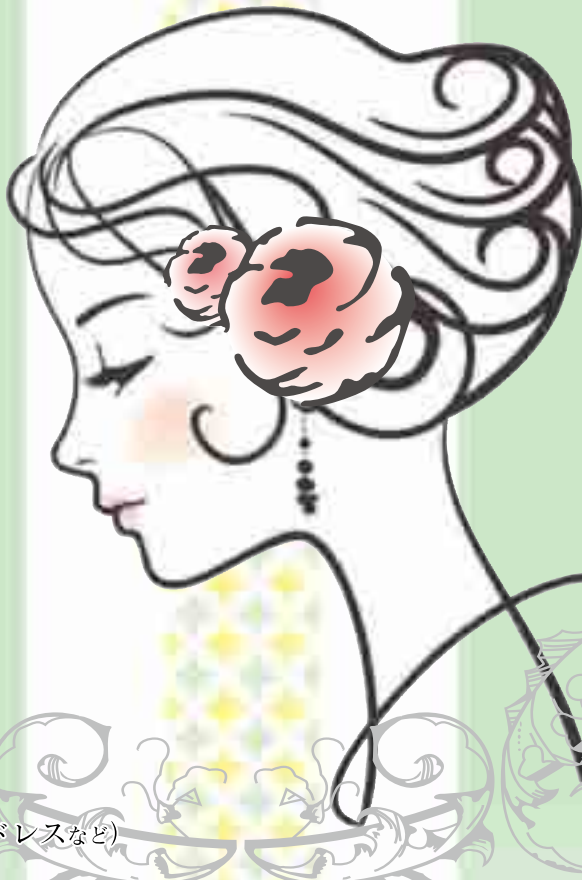
春日神社ブライダルフェア

はなまい

春日物語

花舞

7月8日(日)
11時〜15時30分



模擬挙式 11:30~

- ◎ 巫女舞
- ◎ 雅楽生演奏

模擬披露 12:30~

- ◎ フロアーショー (十二単・ドレスなど)
- ◎ ビデオ上映
- ◎ 婚礼料理試食 (ワンプレート)
- ◎ デザートビュッフェ
- ◎ お楽しみ抽選会

ご来場記念品プレゼント

予約優先

お問合せ・お申込み
春日神社婚礼係 tel 097-532-5638